観光施設メディアラボ

公益社団法人国際観光施設協会編

公益社団法人国際観光施設協会　副会長
ホテル都市分科会　会長
野出木 貴夫

連載

SERIES

はじめに

当協会では、新電動車いす採用による e-WA プロジェクト（**注 1**）の推進をはじめとして、ホテル客室におけるユニバーサルデザイン客室研究（UD 研究）を進めてきました。2024 年度は「フェーズフリー」（**注 3**）にテーマをシフトさせ客室内の寝具のひとつであるベッドパッドとベッドスローに注目してみました。日常時に快適なベッドパッドが非常時の布担架となり、避難先では寝袋にもなるフェーズフリーなアイデアです。分科会有志に加え、正会員である日本ベッド製造に参加、協力をいただき研究をスタートさせました。ラフスケッチ（**図 1**）での机上検討から試作を行ない、日本ベッド製造の青山ショールームにおいて試作品 1 による実証実験と検討会（**写真 1**）を行ない、改良を加え、さらに試作品 2 での検証を行ないました。

ベッドパッドの提案

ベッドパッドはマットレスの防汚保護と寝心地の調整が目的で、中綿が入った洗濯可能な商品です。そのクッション性と厚みが丁度布担架に使用する時の仕様と取り扱いやすさに通じます。中綿があることでほどほどの保温性もあり、寝袋にも使えるのではないかと発想が展開しました。サイズは寝袋を意識してツインサイズの幅 1450 ×長さ 2000 ミリを基準としています。これより幅の狭いベッドに使用する時にはマットレス下にベルトを巻き込むことでシーツの納まりにも支障ないことを確認しました。布担架に使用する時のベルト 4 本をパッド裏面に縫い込み、寝袋にするためのジッパーを端部に設置した簡単な構成です。ベルトはパッド中央にたるみを設け、畳んだ時につかむための余裕を持たせ、またそのたるみが寝心地に支障ないことも確認しました（**QR コード 1**）。

ベッドスローの提案

フェーズフリーなベッドパッドを検討している最中に、寝袋には転用はできないがベッドスローが同じく簡易な布担架に使えるのではないかとの提案がメンバーから出ました。

早速試作品を用意して実験を行ないました。幅は 950 ミリとして長さはツ

写真 1

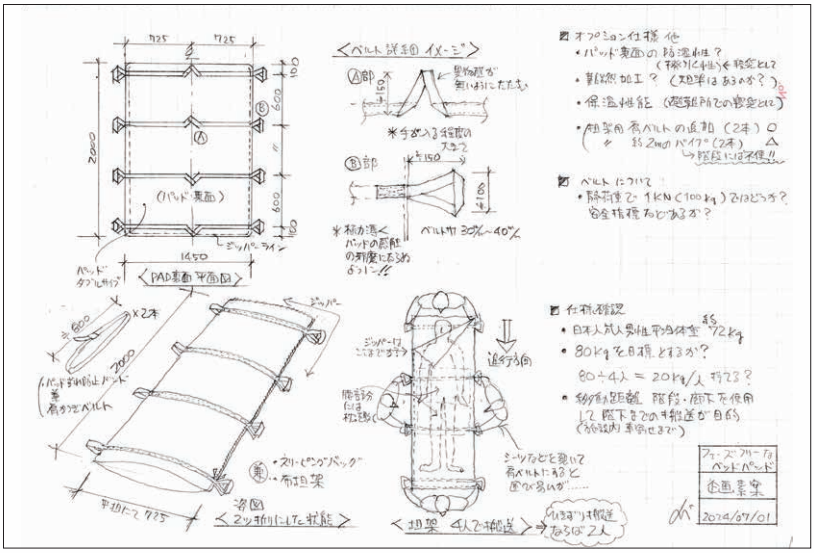


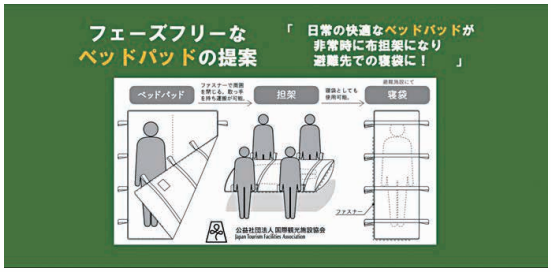
図 1　ラフスケッチ

新ユニバーサルデザイン客室研究
～バリアフリーなベッドパッドの提案～

公益社団法人国際観光施設協会　副会長
ホテル都市分科会　会長　**野出木 貴夫**

インベッド幅と担架に十分な長さ1950ミリとしています。ベッドスローとしては幅方向を2つ折りで使用することとし、裏地を用いて中にベルト4本を隠しています。ベルトは2つ折りに畳んだ時にベルクロテープで止め、スローとして使うときには見えないように納めています。

ホテルではデュベカバーの汚れ止め、またデザインのアクセントとして採用されることが多いスローです。どこまでの耐荷重で仕様設定するかまた価格帯をどうするかなど悩みは残りますが商品展開するには取り組みやすいアイテムでしょう（**QRコード2**）。



QRコード1　2025年投稿動画「フェーズフリーなベッドパッドの提案」

QRコード2　2025年投稿動画「フェーズフリーなベッドスローの提案」

今後の開発課題

前段で解説を省きましたが、安全性と市場性が大きく今後の開発課題となります。ベルトの強度と厚みのバランス、ジッパーの強度をどう見るかなども今回の研究では十分に深堀りできていません。布担架としての使用頻度をどの程度見るかによる耐久性の設定も悩むところです。ベルトに関しては掴みやすさと強度を意識すると厚みが必要となってきますが、今回の試作品ではベルトの厚みを薄くし、寝心地の支障にならない限界を試してみました。また市場性からはベルト、ジッパーなどのコスト増、縫製手間の費用増を超越した日常時の快適性向上を図る必要があるでしょう。

試作品による使い勝手がわかる動画をYOUTUBEに投稿しています。（**QRコード1，2**）をぜひご覧いただき、ご意見いただければ幸いです。また研究参加も歓迎します。

その他の新UD客室研究

当協会のホテル都市分科会では新UD客室研究を2018年より進めています。これは東京オリンピックの開催を契機にバリアフリー法が改正された年でもあります。新たな視点、発想にて飛躍的にバリアフリーな客室の比率の向上を目指した研究でした。

360度自由に走行可能な新電動車いすをホテルに導入することで施設運営者にも取り組みやすい客室の提案をしたe-WAプロジェクト（**注1**）から始まり、車いす利用者のストレスになる客室ドアの自動ドア化の研究、浴室の引き戸の研究と続き、そしてこれらを一体化したプロトタイプ客室の研究（**注2**）にたどり着きます。これまでこの観光メディアラボのページでも紹介してきておりますが、改めて参照いただき運営される宿泊施設の計画・改修などにご活用いただければ幸いです。またご意見・研究参加などもお待ちしています。

注1　2020年投稿動画「新UD客室研究 そのII e-WA」プロジェクト

注2　2024年投稿動画「準バリアフリー客室プロトタイプ提案」

注3　フェーズフリー：日常時と非常時の境界を取り払い、どちらの状況でも活用できる商品やサービスを提供する新しい防災コンセプト